

今日からこの孤児院で
新しくお世話になる
シスターさんです



皆さんに新しい
お勉強を教えるため
教会から来て
くださいました
失礼のないように
お願いしますね

シスターさん？

なに勉強するん
だろう...

前の先生の
授業も面白
かったもん！

楽しみ！





勉強熱心なのは
いいことです

そうですね

強いて
言うなら…



未来を紡いでいく
ために必要な…

とても大切な
こと——

みんな頑張れるかしら？



なあなあ！
新しい勉強の
なにするの！？

もう！ ご飯中に
しゃべっちゃダメだよ！
また院長先生に怒られる…



未来…？

なんだろ…



ふふっ
じゃあ



よくわかんねーけど
なんかすげーこと
なんだな！
オレがんばる！

ほ…ほくも…
勉強好き…

今夜早速
授業を
しましょう――

なにっこれえ♡

じゅるずる

きもちい…

こんなの
知らないよおお！





男の人は君たち
くらいの歳から
この白い『精液』
というものが出る
ようになるのです



これを女の人の
お腹に注ぐと
子供ができるんですよ…



私は君たちが
社会に出る前に
そのやり方を
学ぶために
来ました



私でいっぱい
練習しようね…♡

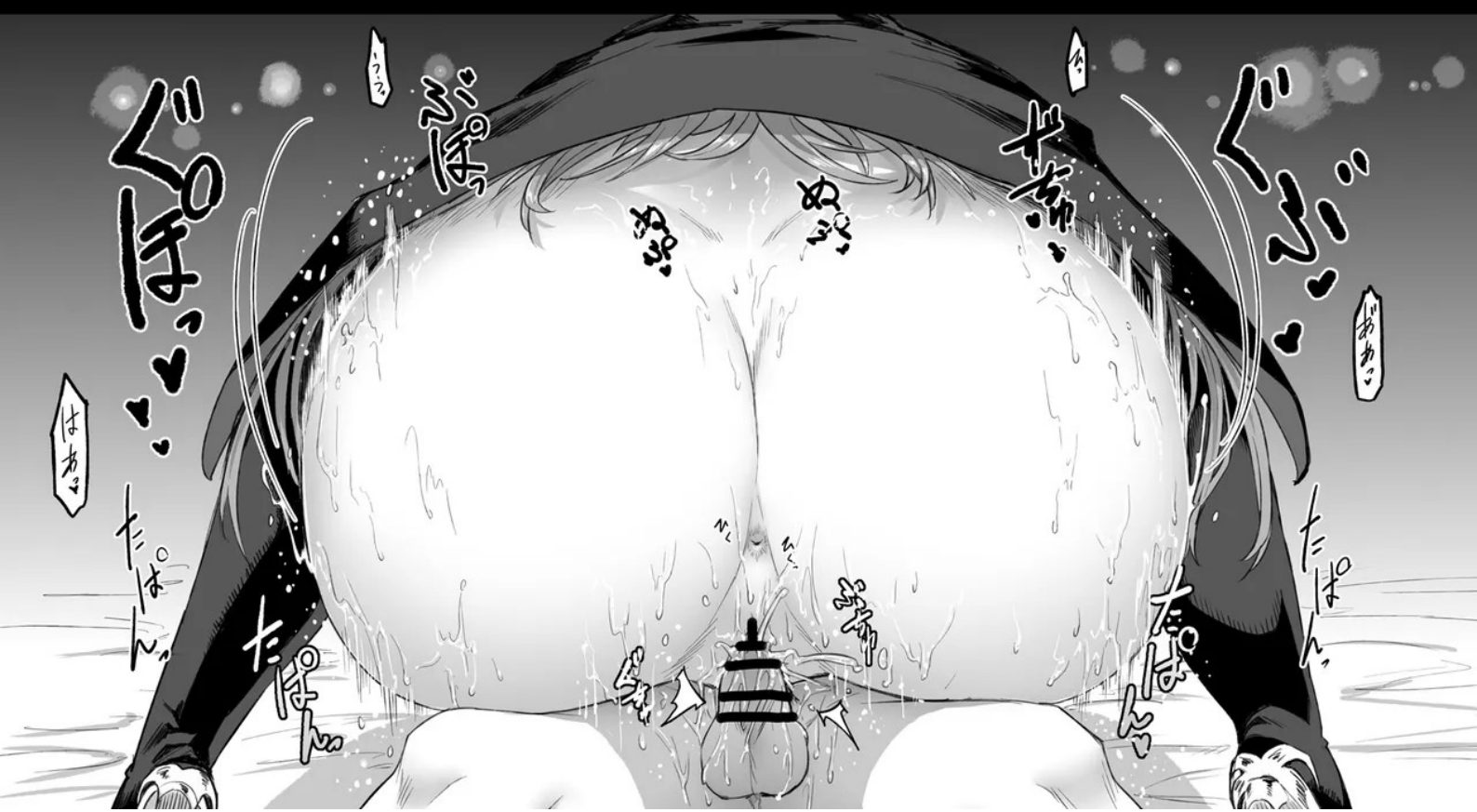
さあ…

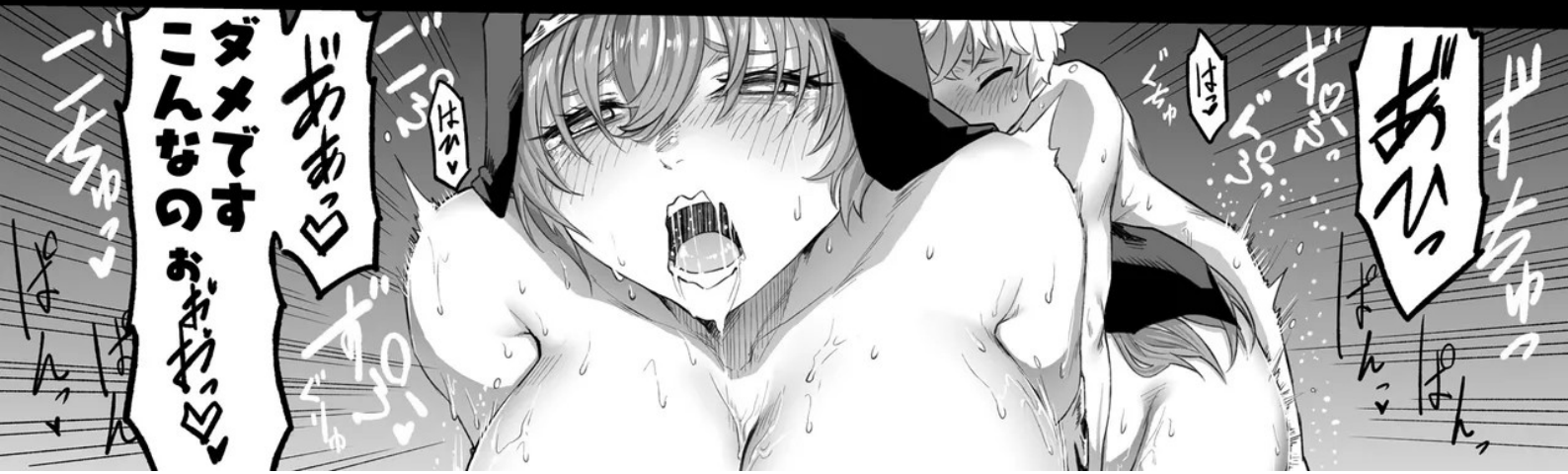


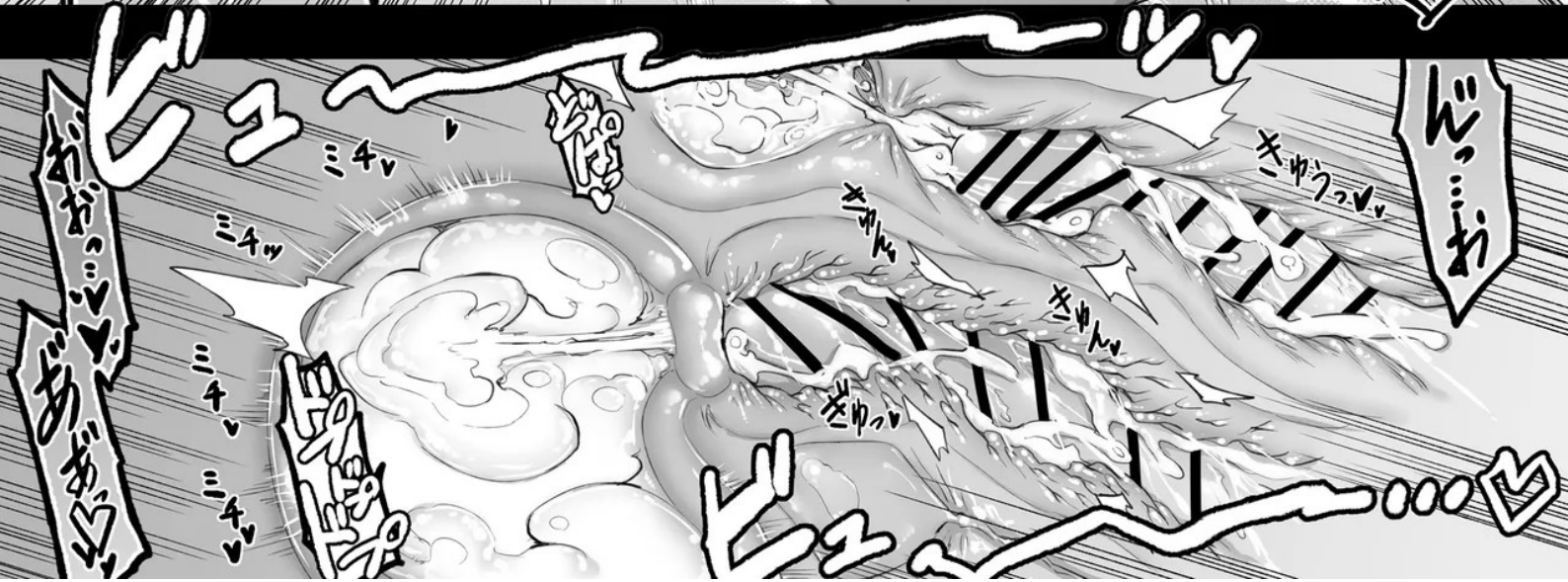
ん…！
ちよつと…

乱暴ですよつ…♡









数時間後――





シスター
さんっ…!



シスターさん…



シスターさん…

シスターさん…!



気持ちよく
なつてよ…!

シスターさんも

ねえ!

奥まで届いてるよー!



それは…
子宮が…
下がって…

気持ちいい!?



オレの...
チ...
お

ハッ

おん

イッてしま
キミ

ガ

ガ

ガ

ガ

ガ

ガ

ガ

ガ

ガ



うん...
シスターさん...

ぼくの...子ども...
を...

ごめんなさい...
私は...

数日前——

それでは
孤児院の件

よろしく
お願いしますね

じゅるっ♡

ぐっ♡

じゅぽ♡

ちゅ♡

ずず♡
ぞく♡

ずず♡

その恰好
よくお似合い
ですよ

シ・ス・タ・ー・

10タン



光栄です

教・主・様



あなたもいよいよ
巢立つのかと思うと
寂しさを感じますね

こちらへ





そう…
一滴残らず…



…有難く拝受します



だって教主様が
以外の経験
が…あ

他に何ができる
というのです



『産めよ増やせよ』の
教義を忘れましたか

慰み物になる
のでなければ
精々未来への
礎となりなさい



これが最後との
ことですが…

正直に申し上げて
自信がありません

私に教育者が
務まるのでしょうか

今更不安
なですか
シスター

善^よがりなさいっ!

その期待に

「愛されている」

愛を知り また
それを伝えなさい!

善を為すのです
シスター!!

私は応えることが
できない——

ダメです 教^カ主^シ様^{サマ}か





このくらいで
果てられては
困りますね
シスター

孤児院では
3人を相手に
するんですよ?

最後の指導です

徹底的に仕込んで
あげますからね...♡